

組合共同事業の紹介

本会では、共同事業に積極的に取り組んでいる組合事例を収集し、情報提供していきます。
第4回目は4乳業工場を統合して、共同生産を行っている事例をご紹介します。

[共同生産]

4工場を統合して 売上拡大



組合名 | 奥羽乳業協同組合

住所 | 〒999-3502 山形県西村山郡河北町大字吉田字花ノ木2150番3

電話番号 | 0237-72-2255 FAX番号 | 0237-72-3784 設立 | 平成11年10月

出資金 | 10,000万円 組合員 | 4名 主な業種 | 乳製品製造業

1

背景と動機

以前、内陸地区には牛乳や乳製品の製造・販売を行う組合が4組合あった。

しかし、各工場とも設備が老朽化し品質・安全への対応（HACCP等）への対応が困難であることや競争の激化により利益が確保できないなど、単独では事業継続が困難なことから、生き残り戦略として乳業の再編・合理化を推進することによって、乳業の経営体質の強化を図ることを目的とした、乳業再編整備等対策事業を利用し4乳業工場を統合する形で協同組合を設立した。

2

事業・活動の内容

組合設立に際しては、平等性を確保するため、出資金を均等出資とした。

敷地面積約7,000㎡・工場棟2,272㎡・生産能力30t/日の効率的かつ衛生面に考慮した近代的な新乳業工場を建設し、「奥羽そだち」などの新しいブランドを立ち上げ、学校給食、県内スーパー・小売店へ販売している。

また、食品を製造する際に工程上の危害を起こす要因を分析し、それを最も効率よく管理して安全を確保する管理手法であるHACCPを導入するなど、品質保証体制が充実していることから、取引先から好感を得ている。

3

成果

牛乳及び乳製品の自社製品売上高は平成12年度の12億円から順調に増加し、平成21年度には15億円を超えた。また、生産性・操業度が向上し、製造経費が再編前より60%以上削減され、売上高にしめる販売・管理費が再編前の約1/2と大幅に低減した。

組合では、「しぼりたての新鮮なおいしさと安心・安全」を合言葉に、山形県内の酪農家が大切に育てた健康な牛から毎日しぼられた生乳を原料として、地域に根差した乳製品づくりを行っている。